

JIS

UDC 662.613.13:543.275.3:531.717.1

K 0302

排ガス中のダスト粒径分布の測定方法

JIS K 0302-1989

(2000 確認)

(2007 確認)

平成元年2月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

化学分析部会 排ガス分析方法専門委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員会長)	荒 木 峻	東京都立大学名誉教授
	濱 中 裕 徳	環境庁大気保全局
	上 村 正 弘	通商産業省立地公害局
	細 川 幹 夫	工業技術院標準部
	指 宿 堯 嗣	工業技術院公害資源研究所
	大八木 義 彦	東京光電株式会社
	飯 田 芳 男	成蹊大学
	田 中 隆	財団法人電力中央研究所
	坂 田 衛	株式会社島津製作所
	朝来野 国 彦	東京都環境科学研究所
	風 間 行 雄	社団法人日本環境測定分析協会
	多 田 格 三	社団法人窯業協会
	宮 島 信 夫	株式会社トーコン
	金 子 幹 宏	神奈川県公害センター
	桜 井 康 三	社団法人産業公害防止協会
	近 藤 喜代太	社団法人日本鉄鋼連盟
	高 橋 節 夫	石油化学工業協会
	岩 橋 康 夫	日本鉱業協会
	岩 村 一 正	石油連盟
	笠 原 晃 明	社団法人日本ガス協会
	田 中 英 彦	社団法人セメント協会
(事務局)	浦 野 四 郎	工業技術院標準部繊維化学規格課
	飯 嶋 啓 子	工業技術院標準部繊維化学規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成元.2.1 確認：平成 12.12.20

官 報 公 示：平成 12.12.20

原案作成協力者：社団法人 産業公害防止協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 鈴木 周一）

審議専門委員会：排ガス分析方法専門委員会（委員会長 荒木 峻）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室（☎100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

排ガス中のダスト粒径分布の測定方法 K 0302-1989

(2000 確認)

Measuring Method for Particle-Size Distribution
of Dusts in Flue Gas

1. **適用範囲** この規格は、排ガス中のダストの粒径分布を煙突、煙道、ダクトなど（以下、ダクトという。）において、質量基準によって測定する方法について規定する。

備考 この規格のなかで、{ } を付けて示してある数値及び単位は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. **共通事項** 共通事項は、JIS Z 8808（排ガス中のダスト濃度の測定方法）による。

3. **用語の意味** この規格で用いる主な用語の意味は、JIS B 9909（集じん装置の仕様の表し方）、JIS Z 8808 及び JIS Z 8901（試験用ダスト）によるほか、次による。

- (1) **ダスト** 気体中に含まれる固体の粒子。乾燥によって付着水分を除いたもの。
- (2) **粒径** 空気力学的挙動が比重 1 の球状粒子と等価となるような粒子の直径。
- (3) **粒径分布** 各粒径区分の粒子の質量が全体の粒子群の質量に対して存在する割合。
- (4) **慣性衝突法** 粒子が運動に際してもっている慣性力を利用し、物体に衝突させて粒子を気流から分離捕集する方法。
- (5) **インパクト** 慣性衝突法を用いて粒子を捕集板に衝突させて気流から分離するもの。
- (6) **カスケードインパクト** 捕集板に対する気流の衝突速度が次第に大きくなるようにインパクトを数段重ねることによって、ダストの粒径分布を求めることのできるもの。分級捕集器ともいう。
- (7) **ジェットノズル** カスケードインパクトで、捕集板に対して粒子を衝突させるために作り出す気流の噴出孔。
- (8) **単孔ノズル** カスケードインパクトにおいて、各段ごとに 1 個のジェットノズルがあるもの。
- (9) **多孔ノズル** カスケードインパクトにおいて、各段ごとに多数個のジェットノズルがあるもの。
- (10) **円形ノズル** ジェットノズルの断面が円形のもの。
- (11) **スリット形ノズル** ジェットノズルの断面が長方形のもの。
- (12) **バックアップフィルタ** カスケードインパクトにおいて、慣性衝突によって捕集できなかった微粒子を完全に捕集するために、最終段の捕集板の後に設けられたろ紙。
- (13) **再飛散** 慣性力によって捕集板に衝突した粒子が、再び気流中にもち去られる現象。
- (14) **ウォールロス** カスケードインパクトにおいて、再飛散などのために捕集板表面以外のジェットノズル背面などの周壁に付着した粒子の量。段間ロスともいう。
- (15) **慣性パラメータ** 粒子の運動に際して生じる慣性力の大きさを表す無次元のパラメータで、次の式によって表されるもの。

引用規格：JIS B 9909 集じん装置の仕様の表し方

JIS K 0901 気体中のダスト試料捕集用ろ過材

JIS Z 8808 排ガス中のダスト濃度の測定方法

JIS Z 8901 試験用ダスト